

# 所報 いぶり

胆振教育研究所  
第1号

令和3年7月1日発行

## 所長挨拶

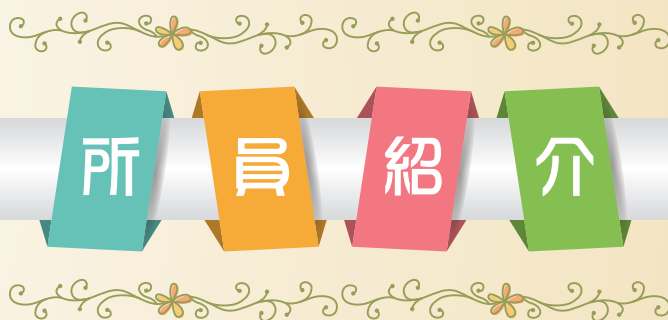
今年度、胆振教育研究所所長を務めることになりました伊達市立伊達中学校の立花です。

胆振教育研究所は昭和25年に始まり、今年度71年目を迎えます。胆振の教育の進展に寄与するという目的のもと、所報による研究委託校・実践校及び本研究所の取組の発信、機関誌による各市町の先生方の実践等の紹介、先生方のニーズに応える研修講座の企画と運営、本所員全員が全力で取り組む教育理論の実践化に関する研究と調査課題研究、学校訪問をとおして学ばせていただいた研究委託校・実践校の研究の実践と成果をまとめた研究紀要の発行などを行ってまいりました。

コロナ禍であっても、学びを止めない胆振の先生方とともに、今年度も全力で胆振の教育の発展と充実のために取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



所長 立花 和実  
(伊達市立伊達中学校)



副所長 坂本 博  
(登別市立幌別中学校)



事務局長 武田 成永  
(登別市立緑陽中学校)



事務局次長 白井 賢司  
(伊達市立伊達中学校)



所員 渡辺 隆之  
(伊達市立伊達小学校)



所員 石井 芳政  
(伊達市立伊達西小学校)



所員 宮崎 雄太朗  
(伊達市立光陵中学校)



所員 若林 梨恵  
(登別市立幌別小学校)



所員 黒川 知恵  
(白老町立白老小学校)



所員 関川 恭平  
(登別市立若草小学校)

# 胆振教育研究所の事業

## 企画・運営

### ● 夏季研修講座

「Google Classroomを使ったリモート授業の方法」

令和3年8月6日(金)リモート配信  
講師 佐渡 新(日本工学院北海道専門学校)

### ● 冬季研修講座

「配慮が必要な児童の実態把握と指導」(仮)

令和4年1月中旬オンラインを予定

.....  
現職のニーズに応じ、指導力の向上につながる講座を企画していきます。

## 合同研修会

本研究所の研究推進計画の説明や研究委託校・実践校の研究の概要、研修推進の課題・成果について交流していきます。

.....  
第1回 6月 書面にて実施    第2回 11月22日(月)実施予定

## 所員訪問

### 研究委託校・実践校との連携

研究委託校・実践校の研究にかかわって、共に学び、情報の提供を行います。

## 共同研究

校内研修・公開研究会への参加・協力

随時



## 胆振教育研究所

### 所員研修会

事業の検討・実施  
所員10名

### 場所

カント・レラ(4~11月)  
登別市民会館(12~3月)

カント・レラの閉鎖に伴い、  
年度途中で登別市民会館に場所  
を移すことになります。

## 作成・提供

### 刊行物・紀要

- 今日的な教育課題等を踏まえ、日々の教育活動に結び付く実践的な研究を進めています。
- 各校の実践により役立つような紀要等の発行に努めてまいります。ぜひ、ご活用ください。

2月発行予定

## 広報活動

研究委託校・実践校の特色ある教育活動や優れた取組、本研究所の活動内容をわかりやすくお伝えしていきます。

- .....
- 教育いぶり...年2回    ■ 所報いぶり...年5回(デジタル配信)
  - ホームページ...随時更新 <http://www.iburi-education.jp>

### 支えていただく9市町

- ・登別市    ・伊達市    ・豊浦町    ・洞爺湖町
- ・壮瞥町    ・白老町    ・安平町    ・厚真町    ・むかわ町

### 理事会

9市町教育長で構成。研究所の組織運営に関することを決定します。

### 運営委員会

各市町教育研究会の代表者、胆振教育局、へき地複式教育連盟代表者、社会教育代表者で構成。各事業推進に向けた支援など、研究所と各市町や関係機関を結ぶ役割を担っています。必要に応じて開催します。



# 研究所退任者挨拶



## ● 前 所 長 野 崎 均 (登別市立緑陽中学校 校長)

平成9年から10年間本研究所で務め、12年後の今年、再び研究所の仕事に携わった私にとって、この1年はうれしいことの連続でした。70年の研究所の歴史の中で培われた「研究所魂」が今も所員に確かに受け継がれていました。研究委託校や実践校の皆様の研究はさらに充実していましたし、アンケートや各刊行物の執筆、研修講座参加を通して、多くの方が研究所にかかわっていただけていました。そうした姿はまさに「胆振の教育の発展と充実」でした。こう実感できたのも、胆振教育局や各市町教育委員会をはじめ、本研究所の活動にお力を貸していただいた全ての方々のおかげでございます。本当にありがとうございました。ご恩をお返しするため、これからも胆振の教育発展のために精進してまいります。

## ● 前事務局長 高橋賢治 (北広島市立大曲小学校 教職大学院派遣)

4年間、胆振教育研究所の所員として貴重な経験をさせていただきました。胆振教育局をはじめ各市町教育委員会、研究委託校・実践校の皆様には大変お世話になりました。胆振の子どもたち、先生方のお役に少しでも立ちたいと思いながら様々な事業や研修を進めてまいりました。また、学校訪問では各校で研究や研修に真摯に取り組む先生方から刺激をいただき、「学び続けるものだけが子どもの前に立つことができる」という言葉を改めて胸に強く刻みました。変化の激しい時代、研修の重要性は増すばかりです。今後も研究所での経験を生かし、子どもたちの為、研鑽に励んでまいります。ありがとうございました。

## ● 前事務局次長 村井淳一 (壮瞥町立壮瞥中学校 教頭)

胆振教育研究所の所員として平成29年度からの4年間、所報いぶり、調査課題研究、そして最後の2年間は事務局次長を担当し、様々な貴重な経験をさせていただきました。また、研究委託校・実践校への学校訪問では、新学習指導要領の完全実施に向けて様々な取組を行っているこの時期に、共同研究員という立場で多くの先生方とともに、それぞれの学校の研究に携わることができ、学ぶ機会をいただけたことに大変感謝しております。今後も研究所で得た経験を生かし、子どもたちの成長と胆振管内の教育の発展に貢献できるよう努めてまいります。在任中お世話になりました関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## ● 前 所 員 本 所 章 宏 (伊達市立星の丘小学校 教頭)

研究所員として3年間、大変お世話になりました。特に印象に残っていることは、研究委託校・実践校への学校訪問への際に、とても快く丁寧に出迎えていただいたこと。そして、担当した研究紀要を通して感じたことですが、それぞれの学校において、コロナ対応に追われる中でも、日々の研究を怠らず、授業改善に努めていることが伝わってきました。いずれも研究所の所員でなければ感じ取れなかったかもしれない、貴重な経験であり、私自身も多くのことを学ばせていただきました。今後も研究所で学んだことや、お世話になったご縁を大切に、これからの教育の発展に努めてまいります。ありがとうございました。

## ● 前 所 員 藤 田 宣 夫 (登別市立幌別西小学校 教諭)

3年間、胆振教育研究所の所員として、多くの学びを経験させていただくことができました。特に昨年度と今年度担当した理論研究では、「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり」について、全国の先進事例や胆振管内の各小中学校の実践事例をもとにまとめる中で、たくさんの気付きを得ることができました。学校訪問の際に、本研究所の資料を活用しながら校内研修を進めていただいている学校を数多く目にし、学びの広がりを実感しました。今後も所員で得た経験を活かし、胆振管内の教育の充実にご寄与できるよう努めてまいります。在任中お世話になりました関係各位の皆様、本当にありがとうございました。

☆ 所報で実践紹介をしてもよい学校は、胆振教育研究所までご連絡ください。

■発行所 胆振教育研究所 TEL・FAX 0143-80-3100 ホームページ <http://www.iburi-education.jp>  
〒059-0551 登別市登別温泉町123-1 のぼりべつ文化交流館 カント・レラ2階

■発行者 立花和実

■印刷所 (有)デザインワーク・エーチ 登別市幌別町6-20-34 TEL 0143-88-1890・FAX 0143-85-1890  
E-mail [work.d@bridge.ocn.ne.jp](mailto:work.d@bridge.ocn.ne.jp)

所報

いぶり